

## 合併特例債の使い道は？

平成18年度から平成24年度（予定）までの7年間で道路の整備や学校の耐震化などに約95億円を活用しています。

### 合併特例債とは？

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

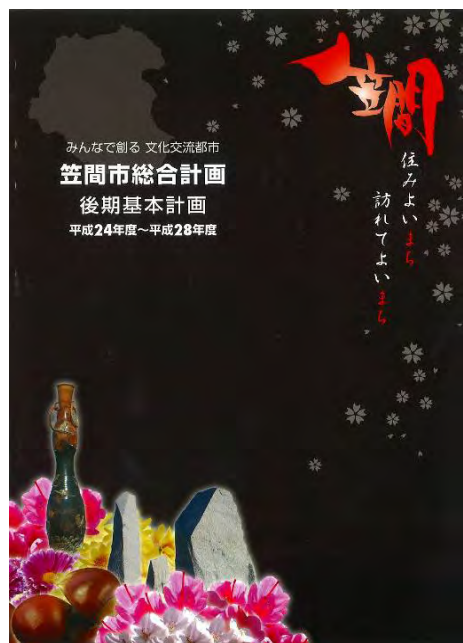
合併特例債の活用は、合併初年度を含む10カ年度（笠間市では平成27年度まで）に限られます。なお、活用する事業費のおよそ95%（充当）まで借り入れることができます。借り入れた地方債の将来支払う元利償還金の70%が普通交付税によって措置されます。

### どうして借り入れるの？

その年度の支出は、その年度の収入によってまかなうことが原則ですが、1年間の収入だけでは公共施設を建設するための多額の経費をまかなうことができない場合もあるため、地方債を借り入れます。また10年、20年と長い期間利用される公共施設は、現在の住民と将来の住民とで建設にかかる経費を負担し合うことで、世代間の公平性をはかるという性質もあります。

合併特例債などの地方債に安易に依存すると、結果的に将来の負担が増大してしまう恐れがあります。このため将来の財政運営を十分に見通したうえで、合併後のまちづくりとして真に必要な事業を厳選し、地方債の活用を慎重に検討していくことが大切です。

笠間市では、約322億円の合併特例債の活用が可能ですが、合併協議会においてこれをすべて活用するのではなく、道路や学校の耐震化など、真に必要なものを厳選し活用することとしました。



笠間市総合計画  
（後期基本計画）

### 何に使われているの？

合併特例債は、新しい笠間市の総合計画に基づいた事業で、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現するため特に必要な事業に活用することとしています。

具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校などの耐震化や児童クラブの整備など皆様の生活に身近な事業に活用しています。



## 平成18年度の使い道は？

合併により新しい笠間市が平成18年3月19日に誕生し、平成18年度から、旧市町を結ぶ道路や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などの事業がスタートしました。

- ・主な道路整備事業
 

友部1級12号線	7,400万円
大淵飯田線	2,500万円
南友部平町線	2,300万円
上町大沢線	1,810万円
- ・学校施設等整備事業
 

友部中学校 (耐震補強)	2億6,160万円
-----------------	-----------

平成18年度は、これらの事業などで合計5億2,010万円を活用しました。



耐震補強された友部中学校

## 平成19年度の使い道は？

前年度から実施していた友部中学校の耐震補強が完了しました。市内小中学校8校に約100基のトイレを整備し、全ての小中学校に洋式トイレを設置しました。また、地域の発展のため岩間駅周辺整備事業に活用しました。

- ・都市整備事業
 

岩間駅周辺整備	2億1,750万円
---------	-----------
- ・主な道路整備事業
 

友部1級12号線	1億1,110万円
大淵飯田線	7,680万円
岩間八郷線	5,540万円
笠間小原線	4,140万円
- ・学校施設等整備事業
 

友部中学校	3億2,740万円
小中学校トイレ整備	3,300万円

平成19年度はこれらの事業などで合計10億6,770万円を活用しました。

## 平成20年度の使い道は？

昭和42年に建設された岩間中学校の改築や友部中学校体育館の耐震補強に活用しました。また、南小学校の児童クラブ整備や、合併により空きスペースが生じていた岩間支所に、子育て支援センター、ボランティアセンター、公民館及び図書館を整備し、名称も「市民センターいわま」としました。



南小学校児童クラブ

- ・主な道路整備事業
 

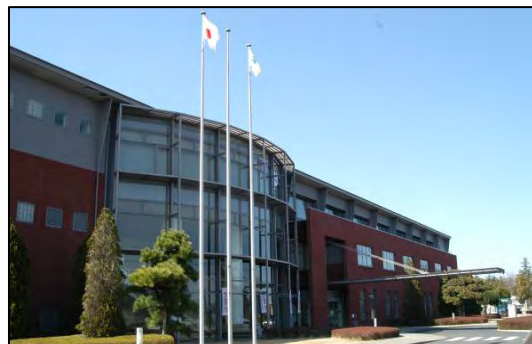
友部1級12号線	1億1,990万円
友部2級10号線	9,970万円
上町大沢線	7,950万円
南友部平町線	7,220万円
友部池野辺線	6,300万円
- ・都市整備事業
 

岩間駅周辺整備	3億9,990万円
---------	-----------
- ・学校施設等整備事業
 

岩間中学校	3億	310万円
友部中学校体育館 (耐震補強)	2,190万円	
- ・その他
 

南小児童クラブ整備	2,610万円
庁舎整備 (市民センターいわま)	4,680万円

平成20年度はこれらの事業などで合計14億9,320万円を活用しました。



市民センターいわま

## 平成21年度の使い道は？

市道友部1級12号線，市道岩間1級12号線，岩間八郷線が開通し，友部池野辺線や大淵飯田線などについては，一部を翌年度に繰り越して整備しました。また，平成20年度から開始した岩間中学校校舎の改築が完了しました。

・主な道路整備事業	
岩間八郷線	1億6,710万円
南友部平町線	1億5,930万円
友部池野辺線	1億4,000万円
大淵飯田線	1億2,320万円
友部1級12号線	1億1,930万円
・都市整備事業	
岩間駅周辺整備	1億9,370万円
・学校施設等整備事業	
岩間中学校	4億1,730万円
・その他	
宍戸小児童クラブ整備	1,910万円

平成21年度はこれらの事業などで合計17億9,110万円の合併特例債を活用しました。



岩間中学校の新校舎



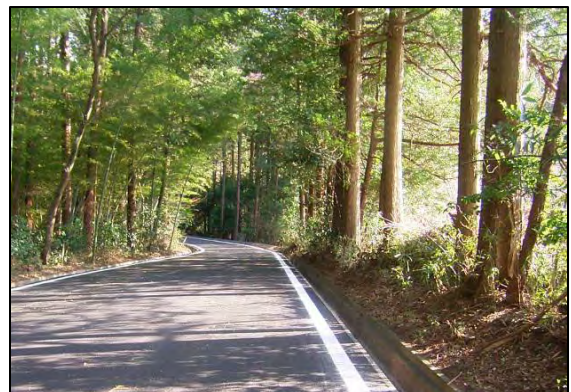
市道友部1級12号線  
(平町・矢野下地内)

## 平成22年度の使い道は？

南友部平町線，上町大沢線，来栖本戸線などの幹線道路整備や，岩間駅周辺整備を進めました。また岩間中学校，笠間小学校，岩間第三小学校体育館の耐震補強が完了しました。

・主な道路整備事業	
南友部平町線	1億3,380万円
来栖本戸線	3,820万円
友部1級5号線	4,210万円
・学校施設等整備事業	
岩間中学校	7,340万円
笠間小学校 (耐震補強)	1億2,320万円
岩間第三小体育館 (耐震補強)	2,700万円
・都市整備事業	
岩間駅周辺整備	1億9,770万円

平成22年度はこれらの事業などで合計8億4,920万円の合併特例債を活用しました。



舗装された林道本戸前山線

## 平成23年度の使い道は？

学校施設では、笠間中学校の耐震補強が完了しました。

道路整備では、南友部平町線、笠間小原線桂町工区、来栖本戸線、上町大沢線等の整備を進めました。

また、子育て支援のための複合施設でもある児童館の整備が完了しました。

・学校施設等整備事業	
笠間中学校（耐震補強）	8,710万円
笠間学校給食センター（設計）	1,390万円
・主な道路整備事業	
南友部平町線	6,860万円
笠間小原線桂町工区	3,930万円
来栖本戸線	3,390万円
上町大沢線	3,310万円
・福祉施設整備事業	
児童館整備	1億1,170万円
・都市整備事業	
岩間駅周辺整備	1億2,900万円
岩間駅東大通線延伸分	2,860万円
岩間駅東土地区画整理事業	1,140万円
・その他	
まちづくり振興基金積立事業	4億7,500万円

平成23年度はこれらの事業などで合計11億3,380万円の合併特例債を活用しました。



岩間駅駅舎・自由通路  
(平成24年7月24日供用開始)

## 平成24年度の使い道は？

学校施設等では笠間学校給食センターの本体整備が完了します。

道路整備では、笠間小原線桂町工区、来栖本戸線、上町大沢線等を引き続き整備します。

都市整備では、岩間駅周辺整備のほか、笠間地区市街地浸水対策を行います。

その他の事業として、北山公園の整備や笠間市民体育館の大規模改修を実施します。

また、事業費を繰り越して実施している岩間駅周辺の整備が完了します。

・学校施設等整備事業	
笠間学校給食センター（整備）	9億 840万円
・主な道路整備事業	
笠間小原線桂町工区	1億 80万円
来栖本戸線	1億 550万円
上町大沢線	8,220万円
友部1級5号線	3,540万円
・都市整備事業	
岩間駅周辺整備	4億1,790万円
岩間駅東大通線延伸分	1億5,200万円
笠間地区市街地浸水対策	1億1,280万円
岩間駅東土地区画整理事業	4,790万円
・その他	
笠間市民体育館大規模改修	3,430万円
北山公園整備	2,610万円
まちづくり振興基金積立事業	4億7,500万円

平成24年度はこれらの事業などで合計約26億円の合併特例債の活用を予定しています。



笠間学校給食センター（イメージ）

## 今後の使い道は？ (H25年度～)

現在まで進めてきた幹線道路の整備や学校の耐震補強などへの活用を予定しています。

・学校施設等	
岩間第三小学校校舎（耐震補強）	1億 470万円
穴戸小学校屋内運動場（耐震補強）	2,790万円
稲田小学校屋内運動場（耐震補強）	2,090万円
笠間中学校屋内運動場（耐震補強）	6,240万円
・主な道路整備事業	
米栖本戸線	3億 750万円
南友部平町線	2億8,050万円
笠間小原線桂町工区	8,490万円
・都市整備事業	
岩間駅東大通線延伸分	1億7,920万円
・その他	
まちづくり振興基金積立事業	7億4,100万円



合併特例債は、合併後10年間の時限的な制度であり、非常に有利な財源ですが、借入金であることに変わりはありませんので、真に必要な事業を厳選し、有効に活用していきます。

### ※合併特例債の適用期間の延長について

東日本大震災により被災した自治体の合併特例債の適用期間を合併後20年間（平成37年まで）に延長することができる制度改正がありました。

笠間市では、今後の合併特例債の活用に関して検討し、適用期間を延長するかどうか判断していくこととなります。



# 合併特例債活用事業一覧

## 学校整備耐震補強事業等

28億6,680万円

事業名	事業年度	事業費	(予定) 総借入額 ：百万円
友部中学校校舎大規模改造	H18～H19	805.5	589.0
小中学校トイレ整備	H19	34.8	33.0
友部中学校屋内運動場耐震補強	H20	41.5	21.9
岩間中学校施設整備	H20～H22	1,391.7	793.8
友部第二小学校屋内運動場耐震補強	H21	37.1	5.6
友部第二小学校校舎耐震補強	H23	8.9	8.4
穴戸小学校校舎耐震補強	H22	7.3	6.9
穴戸小学校屋内運動場耐震補強	H25	44.1	27.9
笠間中学校校舎耐震補強	H22～H23	154.1	97.5
笠間中学校屋内運動場耐震補強	H25	122.2	62.4
岩間第三小学校屋内運動場耐震補強	H22	40.9	27.0
岩間第三小学校校舎耐震補強	H25	165.4	104.7
笠間小学校校舎耐震補強	H22	225.1	123.2
稲田小学校校舎耐震補強	H23	8.4	7.9
稲田小学校屋内運動場耐震補強	H25	33.1	20.9
笠間学校給食センター整備	H23～H25	1,055.1	936.7
計		4,175.2	2,866.8

## 道路整備事業

43億8,230万円

事業名	事業年度	事業費	(予定) 総借入額 ：百万円
笠間小原線	H18～H20	178.0	84.5
大淵飯田線	H18～H22	587.9	289.9
友部池野辺線	H18～H22	550.7	268.9
友部1級3号線	H18～H21	356.0	169.1
友部1級12号線	H18～H21	919.7	424.3
友部2級10号線	H18～H22	524.3	251.8
岩間1級12号線	H18～H21	175.3	96.8
岩間八郷線	H18～H21	521.3	273.8
上町大沢線	H18～H24	498.4	303.0
南友部平町線	H18～H27	1,250.0	787.0
来栖本戸線	H19～H26	1,200.0	558.1
友部1級5号線	H21～H24	300.9	129.4
友部1級8号線	H21～H22	63.1	26.8
友部1級11号線	H21	39.0	16.6
才木友部線	H21～H22	220.2	94.1
荒町駅前線	H21	35.0	14.9
寺崎飯田線	H21～H23	62.9	27.0
笠間小原線(桂町工区)	H21～H25	569.9	243.5
友部2級6号線	H22～H24	142.8	64.1
狭あい道路整備事業	H22～H25	318.7	151.3
友部1級11号線(交安)	H23～H26	98.4	43.8
友部2級11号線(交安)	H23～H24	29.0	12.6
市道(笠)2336号線(ギャラリーロード)	H23～H25	90.0	51.0
計		8,731.5	4,382.3

都市整備事業 22億1,430万円

事業名	事業年度	事業費	(予定) 総借入額 ：百万円
岩間駅周辺整備	H18～ H24	2,361.0	1,641.2
岩間駅東大通線	H21～ H27	876.0	372.3
岩間駅東土地区画 整理事業	H22～ H24	150.4	63.9
岩間公共広場整備	H22	7.8	3.3
稲田駅前トイレ整備	H20～ H21	10.0	9.5
笠間地区市街地浸水対策	H23～ H25	218.0	124.1
計		3,623.2	2,214.3

林道整備事業 2,450万円

事業名	事業年度	事業費	(予定) 総借入額 ：百万円
林道本戸前山線舗装事業	H20～ H21	51.8	24.5
計		51.8	24.5

その他 20億3,490万円

事業名	事業年度	事業費	(予定) 総借入額 ：百万円
小学校児童クラブ整備	H20～ H21	85.3	45.2
庁舎整備 (市民センターいわま)	H20	52.5	46.8
児童館整備	H22～ H23	143.5	114.1
北山公園整備	H23～ H27	126.9	54.9
愛宕山整備 (恋人の聖地関連)	H24～ H25	30.0	17.0
常備消防車車両更新事業	H24	33.6	20.2
笠間市民体育館大規模改修	H24	142.1	43.8
友部公民館整備 (石綿除去)	H24	4.0	1.9
まちづくり振興基金積立	H23～	1,780.0	1,691.0
計		2,397.9	2,034.9

合計		18,979.6	11,522.8
----	--	----------	----------

※ 現在までに事業を予定しているものを掲載しています。今後事業を開始するものについては、来年度以降、順次追加掲載します。

○合併特例債起債可能上限額 約322億円  
合併特例債借入(予定)額 約118億円  
(現在予定している借入の総額です。起債可能上限額の約37%となります。)

○まちづくり振興基金への積立上限額 約26.7億円  
まちづくり振興基金への積立予定額 約17.8億円  
(積立上限額の約67%となります。)



笠間市では、約322億円の合併特例債の活用が可能ですが、合併協議会において、これをすべて活用するのではなく、道路や学校の耐震化などの真に必要なものに活用するとしており、今後もこの方針を基本に、財政状況等と照らし合わせながら活用する予定です。

H21.12作成  
H24.8更新